

報道関係者各位

2023年12月吉日

群馬いろは（高崎ターミナルビル）×TUC 高崎商科大学

3.5本の矢
プロジェクト

「発掘！県民 Sweets」

～学生がセレクトした群馬が誇る Sweets～



■ イベント概要

「発掘！県民 Sweets」は、スイーツを切り口に観光プロモーションを行い、地域活性化を目的とするプロジェクトです。3つの学生チームが参加し、各チームが“知る人ぞ知る県内スイーツ”を発掘。今回は川場・前橋・南高崎の3エリアの隠れたスイーツを学生たちが厳選！『商品』と『観光』それぞれのPRチラシを作成し、連携協定を結んだ高崎ターミナルビル株式会社が運営するJR高崎駅構内の「群馬いろは」にて、12月16日(土)・17日(日)に販売イベントを行います。販売をとおして、商品と観光地のプロモーションを行い、多くのお客様に足を運んでいただくことでその地域の活性化を目指します。またマーケティングの実践として、2日間合計の商品売上個数やチラシの評価等で競い、優勝チームを決定いたします。

日時：12月16日(土)・17日(日) 10:00～16:00※但し売切れ次第終了

場所：JR高崎駅 イーサイト高崎2階「群馬いろは」

共催：高崎ターミナルビル株式会社（所在地：群馬県高崎市、代表取締役社長：橋本勇一）

協力：川場「Tia tree」・前橋「あんこもん」・南高崎「2ひきのうさぎ」

指導：滝井元視准教授（キャリア教育）

本件は高崎商科大学(所在地：群馬県高崎市、学長：築雅之)と、駅ビルや駅ナカ事業、高架下管理業務などを幅広く展開する高崎ターミナルビル株式会社が連携し、群馬県内の知られざるスイーツを発掘し、商品プロモーションをとおしてマーケティングを実践的に学ぶことのできるPBL型（課題解決型学習）プロジェクトです。企業連携教育「3.5本の矢プロジェクト」の一環で、大学で学んだ理論や知識を実践することで、より実社会に即した教育を学ぶことのできる教育プログラムです。

本プロジェクトはチームでのワークを中心としており、マーケティング調査、店舗との交渉、デザイン等の責任者を決め、それぞれがリーダーシップを発揮するシェアリーダーシップを実践。学生が自走できる仕組みを構築し、学生自身が課題を感じ、それらを自ら解決していくプロセスで自主性・主体性を養成します。

今年も大学・短大から有志により3チームが参加。10回の全体ワークと4～7回のチーム別ワークで構成され、プロジェクトリーダー滝井元視准教授（キャリア教育専門）の全体指導のもと、マーケティング専門の中村晃さん（JIMBA株式会社）、デザイナー/イラストレーター山田淳史さん（合同会社MINATO）による特別講義も行いました。また、学生自身もご協力いただいた地元の店舗様との対話を重ねながら、商品のブランディング、交渉、販売商品の発注など、ビジネスシーンで求められる幅広いスキルを実践の場で高めました。最前線で活躍する職業人による「活かた」講義から、ビジネスと社会についての学びを深化させることができるのも本プログラムの魅力です。

■ 3.5本の矢プロジェクト

「3.5本の矢プロジェクト」とは、本学が革新的な社会活動を行う企業と連携し、次世代を担う学生たちを育成する取り組みです。アドビシステムズ株式会社、楽天株式会社、株式会社電通の企業3社を3本の矢と見立て、成長の可能性を秘めた0.5本の矢である学生を4本目の矢として世に放つというコンセプトのもと「3.5本の矢」と命名しました。2016年より開始、現在では提携企業が増加し、3社を超えた複数企業と、さまざまなコラボレーション講義を実施しています。

3.5本の矢プロジェクト URL：<https://www.tuc.ac.jp/activities/company/>

■ 高崎ターミナルビル様との打ち合わせ



■ 滝井准教授によるヒアリング講座



■ 外部講師によるデザイン講座



■ チラシ用の商品撮影



■ 昨年の販売イベントの様子



■ 大学概要

名 称：高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部
所在地：〒370-1214 高崎市根小屋町 741
学 長：築雅之
学 部：高崎商科大学(商学部)
高崎商科大学大学院(商学研究科)
高崎商科大学短期大学部(現代ビジネス学科)

■ 報道関係者からの問い合わせ先

教学課教育企画グループ
担 当：迫田・伊勢亀・北村
T E L：027-347-3399 (代表)
F A X：027-347-3389
E-Mail：k-kikaku@uv.tuc.ac.jp